## 令和4年度 レポート評価票

**************************************						集団学習者のみ記入				
学籍番号				所	属					
氏名				専	攻	幼児専攻		保育専攻		
提出回数 初 回 再提			再提出	出		□ 不合格レポートは添付しません ※ 前回レポートが旧設題・紛失の場合のみチェックを入れてください				
	可能です	。再提出の際に、前	回提出分から	没題変更		ん。再提出の場合は、前回提出している場合、もしくは前回提出分				
評価合格			各			不合格(再提出)		添削者		
		【論文	作法】※2つ	以上(C)	評価に	該当した場合は再提出となります	0			
評価規準		良く書けてい	, <b>い</b> る(A)			もう少し(B)		要書き直し(C)		
<b>論文作法①</b> 文章量が適切である。		指定された文字数 ている。	対を満たして書	かれ				指定された文字数の 8 割 していない。1,650 字を超え		
<b>論文作法②</b> 参考にした文献を情報の? 足なく書くことができる。		参考文献がテキス 上あげられており に漏れがなく書き	リ、かつ必要な	情報				参考文献がテキストを含め 上あげられていない。もし 情報に漏れがあり、書きて である。	くは必要な	
<b>論文作法③</b> フォーマルなレポートに適 た文体、正確な文字で書く とができる。		レポート全体を通れており、レポー 適切で、丁寧なこる。 さらには誤字	-ト用紙の使い 文字で書かれ	方が てい		文体の統一、レポート用紙の 方、丁寧な文字、誤字脱字の 4 項目において2つ以内の不備が れる。	つの	文体の統一、レポート用 方、丁寧な文字、誤字脱字	において: , または、	
<b>論文作法④</b> 正確に読み手に伝わる文章 表現ができる。		で、文意が通じや ができている。ま 見られる。				レポート全体を通じて、流れを妨 ような文法上の間違いが少なく、 が比較的通じやすい。	文意 □	レポート全体を通じて、流 ような文法上の間違いが 手に正確に伝わる表現で ない。	多く、読み	
	1	【内		以上(C)	評価に	該当した場合は再提出となります	•			
評価規準		良く書けてし				もう少し(B)	-L=T	要書き直し(C)		
<b>内容①</b> 幼稚園教育要領の変遷が消れなく述べられ、背景や6 育内容、要点などが簡潔/ まとめられている。		幼稚園教育要領の が漏れなく述べら 見直された保育の 潔にまとめられて	れ、改訂の背 内容、要点など	景や		幼稚園教育要領の刊行と5回の に漏れがある。改定の背景や保容、要点などの説明が不足しる。または曖昧な理解のもと述いる。	育内 口	幼稚園教育要領の刊行とに漏れがあり、改訂の背景容、要点などが述べられまたは間違った理解のもる。	景や保育内 ていない。	
<b>内容②</b> 保育所保育指針の変遷が別れなく述べられ、背景や代育内容、要点が簡潔にまる のられている。		保育所保育指針のが漏れなく述べら 背景や見直された どが簡潔にまとめ	っれ、改訂(改算 と保育内容、要	定)の		保育所保育指針の刊行と4回の (改定)に漏れがある。改定(改定 背景や保育内容、要点などが不 ている。または曖昧な理解のも べている。	E)の 足し ロ	保育所保育指針の刊行と (改定)に漏れがあり、改記 背景や保育内容、要点なる れていない。または間違 もと述べている。	訂(改定)の どが述べら	
内容③ 認定こども園教育・保育要能の告示、改訂について述べられている。認定こども園飲 設立された背景について使せて述べられている。		認定こども園教育 改訂について述べ 設立となった背景 体的に述べられて	られている。 、主な論点3点			認定こども園教育・保育要領の告 改訂について述べられているが 立となった背景、主な論点3点が 的に述べられていない。または な理解のもと述べられている。	、設 具体 <sub>□</sub>	認定こども園教育・保育要 改訂について述べられて 立となった背景、主な論点	いない。該	
内容④ 同時改訂(改定)となった4 稚園教育要領、保育所保育 指針、認定こども園教育・保育 育要領の共通項目 3 点がな		2017(平成 29)年った幼稚園教育9針、認定こども園・通項目について、いる。	要領、保育所保 教育・保育要領	育指の共	П	共通項目が1点または2点のみられている。 共通項目についての理解が曖 ある。		共通項目があげられていまたは間違った理解のものる。		
				170	の他指	<b>:摘事項</b> 】				

## 令和4年度 レポート評価票

再提出  「、どちらか片方の設題のみの提出(  「提出の際に、前回提出分から設題  ません」にチェックを入れてください  合格	<b>変更にな</b>	女 幼児専攻 □ 不合格レ7	失の場合 - トを添作 <b>部でも</b> 部でも ぶ 消 片	分失した場合は、科目ごとの設題
再提出  「、どちらか片方の設備のみの提出」  「現出の際に、前回提出分から設備 ません」にチェックを入れてください  合格  【論文作法】※2つ以上 良く書けている(A) 指定された文字数を満たして書かれている。  参考文献がテキストを含めて3つ以上 とあげられており、かつ必要な情報 に漏れがなく書き方も適切である。	専 攻 は認めまt (c) 評価 (c) (c) 評価 (c) 以 (d)	対児専攻 □ 不合格レア ※ 前回レポートが旧設題・約 せん。再提出の場合は、前回提出分を つている場合、もしくは前回提出分を 不合格 (再提出) に該当した場合は再提出となります。	失の場合 - トを添作 <b>部でも</b> 部でも ぶ 消 片	よ添付しません 合のみチェックを入れてください 付している場合のみ、不合格設置 大人た場合は、科目ごとの設置 者
再提出  ま、どちらか片方の設題のみの提出  再提出の際に、前回提出分から設題 ません」にチェックを入れてください  合格  【論文作法】※2つ以上 良く書けている(A) 指定された文字数を満たして書かれている。  参考文献がテキストを含めて3つ以上 上あげられており、かつ必要な情報 に漏れがなく書き方も適切である。	は認めませる。 (C)評価 1	□ 不合格レア	失の場合 - トを添作 <b>部でも</b> 部でも ぶ 消 片	よ添付しません 合のみチェックを入れてください 付している場合のみ、不合格設置 大人た場合は、科目ごとの設置 者
は、どちらか片方の設備のみの提出に 再提出の際に、前回提出分から設備 ません』にチェックを入れてください 合格 【論文作法】※2つ以上 良く書けている(A) 指定された文字数を満たして書かれている。 参考文献がテキストを含めて3つ以上 上あげられており、かつ必要な情報 に漏れがなく書き方も適切である。	<b>変更にな</b>	※ 前回レポートが旧設題・約 せん。再提出の場合は、前回提出レポートっている場合、もしくは前回提出分を 不合格 (再提出) に該当した場合は再提出となります。	失の場合 - トを添作 <b>部でも</b> 部でも ぶ 消 片	合のみチェックを入れてください 対している場合のみ、不合格設置 <b>失した場合は、科目ごとの設題</b> 者 即 要書き直し(C) 指定された文字数の 8 割以上 していない。1,650 字を超えてし
事提出の際に、前回提出分から設備 ませんJにチェックを入れてください 合格 【論文作法】※2つ以上 良く書けている(A) 指定された文字数を満たして書かれている。 参考文献がテキストを含めて3つ以 上あげられており、かつ必要な情報 に漏れがなく書き方も適切である。	<b>変更にな</b>	たっている場合、もしくは前回提出分を一 不合格 (再提出) に該当した場合は再提出となります。	添削に	<b>決した場合は、科目ごとの設題</b> 者  (印)  要書き直し(C)  指定された文字数の 8 割以上 していない。1,650 字を超えてし
【論文作法】※2つ以上 良く書けている(A) 指定された文字数を満たして書かれ ている。 参考文献がテキストを含めて 3 つ以 上あげられており、かつ必要な情報 に漏れがなく書き方も適切である。	れ □ :	(再提出) に該当した場合は再提出となります。		印 要書き直し(C) 指定された文字数の 8 割以上 していない。1,650 字を超えてい
良く書けている(A) 指定された文字数を満たして書かれている。 参考文献がテキストを含めて 3 つ以 上あげられており、かつ必要な情報 に漏れがなく書き方も適切である。	れ □ :		,	指定された文字数の 8 割以上 していない。1,650 字を超えてし
指定された文字数を満たして書かれている。  参考文献がテキストを含めて 3 つ以上あげられており、かつ必要な情報に漏れがなく書き方も適切である。	込 報 □	もう少し(B)	,	指定された文字数の 8 割以上 していない。1,650 字を超えてし
でいる。 参考文献がテキストを含めて 3 つり 上あげられており、かつ必要な情幸 こ漏れがなく書き方も適切である。 レポート全体を通じて、文体が統一。	込 報 □		,	していない。1,650 字を超えてし
上あげられており、かつ必要な情幸 こ漏れがなく書き方も適切である。 レポート全体を通じて、文体が統一で	超 🗆		,	
				上あげられていない。もしくは、情報に漏れがあり、書き方もである。
適切で、丁寧な文字で書かれてしる。 る。さらには誤字脱字も見られない。	ji ,\ □	文体の統一、レポート用紙の使い 方、丁寧な文字、誤字脱字の 4 つの 項目において 2 つ以内の不備が見ら れる。		文体の統一、レポート用紙の方、丁寧な文字、誤字脱字におつ以上の項目での不備、またつ以上の項目において著しい見られる。
レポート全体を通じて、正しい文法で、文意が通じやすい表現で書くこと ができている。また、工夫した表現も 見られる。	ا ا	レポート全体を通じて、流れを妨げる ような文法上の間違いが少なく、文意 が比較的通じやすい。		レポート全体を通じて、流れを ような文法上の間違いが多く 手に正確に伝わる表現で書か ない。
	_(C)評価	: 「に該当した場合は再提出となります。		
良く書けている(A)		もう少し(B)		要書き直し(C)
家庭との連携の必要性について十分 里解し述べられている。	<b>分</b>	家庭との連携の必要性について述べているが、説明が曖昧である。または不足している。		家庭との連携の必要性につい られていない。または間違っ のもとで述べている。
家庭との連携、保護者との関係づくり のための具体的な方法を 3 つ以上も げ、簡潔に述べられている。		家庭との連携、保護者との関係づくり のための具体的な方法が述べられ ているが、理解が曖昧である。また は3つ以上あげられていない。		家庭との連携、保護者との関係のための具体的な方法が述っていない。または間違った理とで述べている。
爰、子育て支援に関して留意すべる	<b>*</b>	援、子育て支援に関して留意すべき		保育所の特性を生かした子前援、子育で支援に関して留意 事項について述べられていな たは間違った理解のもと述べる。
る支援、地域の保護者に対する支援 こついて、十分理解し述べられてに -	爰	る支援、地域の保護者に対する支援		保育所を利用している保護者に る支援、地域の保護者に対す について述べられていない。 間違った理解のもと述べている
ó.	その他技	指摘事項】		
一番 かっこう	、子育て支援に関して留意すべ、 ・項について具体的に述べられてし ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。 ・。	会育所の特性を生かした子育で支援、子育て支援に関して留意すべき 可について具体的に述べられてい の。 会育所を利用している保護者に対す 、支援、地域の保護者に対する支援 こついて、十分理解し述べられてい の。	は3つ以上あげられていない。  保育所の特性を生かした子育で支援、子育で支援に関して留意すべき 援、子育で支援に関して留意すべき 事項について具体的に述べられてい 事項について述べているが理解が曖昧である。または不足している。  保育所を利用している保護者に対す る支援、地域の保護者に対する支援 について、十分理解し述べられてい	は3つ以上あげられていない。  保育所の特性を生かした子育で支援、子育で支援に関して留意すべき 援、子育で支援に関して留意すべき 事項について連べているが理解が曖昧である。または不足している。  保育所を利用している保護者に対す る支援、地域の保護者に対する支援について、十分理解し述べられてい 曖昧である。または不足している。